

2025年5月15日

各 位

株式会社サイバーエージェント
代表取締役 代表執行役員 社長 藤田 晋
(コード番号: 4751 東証プライム市場)
問合せ先 IR・SR 室長 宮川 園子
連絡先 03-5459-0227

**(訂正・数値データ訂正)「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について**

当社は、2020年10月28日付で開示いたしました「2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、以下のとおりお知らせします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容及び理由

訂正の内容及び理由につきましては、別途、本日(2025年5月15日)付「過年度有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

(訂正後)



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月28日

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所 東
 コード番号 4751 URL <https://www.cyberagent.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
 定時株主総会開催予定日 2020年12月11日 配当支払開始予定日 2020年12月14日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月16日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (ライブ配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期の連結業績 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	478,526	5.5	33,839	9.8	33,822	10.9	6,567	287.5
2019年9月期	453,611	8.1	30,825	2.2	30,493	6.8	1,694	△65.1

(注) 包括利益 2020年9月期 20,126百万円 (255.0%) 2019年9月期 5,670百万円 (△50.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	52.09	48.82	7.8	13.9	7.1
2019年9月期	13.45	12.21	2.1	13.5	6.8

(参考) 持分法投資損益 2020年9月期 △367百万円 2019年9月期 △605百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	260,725	127,637	34.3	709.49
2019年9月期	224,876	110,352	35.2	628.36

(参考) 自己資本 2020年9月期 89,488百万円 2019年9月期 79,169百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	37,028	△16,621	△2,590	102,368
2019年9月期	14,917	△18,000	△4,662	84,563

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00	4,157	245.2	5.2
2020年9月期	—	0.00	—	34.00	34.00	4,288	65.3	5.1
2021年9月期(予想)	—	0.00	—	37.00	37.00	—	—	—

3. 2021年9月期の連結業績予想 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	500,000	4.5	30,000 ～35,000	△11.3 ～3.4	30,000 ～35,000	△11.3 ～3.5	8,000 ～10,000	21.8 ～52.3	63.42 ～79.28

(注) 2021年9月期の連結業績予想につきましては、レンジ形式により開示しております。詳細は、3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年9月期	126,426,600株	2019年9月期	126,426,600株
2020年9月期	297,742株	2019年9月期	434,142株
2020年9月期	126,068,485株	2019年9月期	125,938,289株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	260,611	6.0	14,122	△3.9	22,554	△5.1	17,723	9.9
2019年9月期	245,910	7.7	14,698	1.9	23,765	△6.3	16,131	4.0
	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年9月期	140.59		132.79					
2019年9月期	128.08		120.88					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年9月期	189,322		108,741		56.9		854.50	
2019年9月期	164,337		89,029		53.6		699.30	

(参考) 自己資本 2020年9月期 107,777百万円 2019年9月期 88,107百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16
役員の異動	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

2020年のインターネット広告市場は、新型コロナの感染拡大の影響を受け前年比0.5%増（注）が見込まれております。

このような環境のもと、当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため「ABEMA」への投資をしつつ、当連結会計年度における売上高は478,526百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は33,839百万円（前年同期比9.8%増）、経常利益は33,822百万円（前年同期比10.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は6,567百万円（前年同期比287.5%増）となりました。

出所（注）日経広告研究所「2020年度の広告費予想／2020年度を見直し（2020年7月公表）」

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「Ameba」、「タップル」等が属しております。

「ABEMA」への投資をしつつ、売上を伸ばし、売上高は57,098百万円（前年同期比22.6%増）、営業損益は18,267百万円の損失計上（前年同期間16,862百万円の損失計上）となりました。

②ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Craft Egg、(株)サムザップ等が属しております。

既存タイトルが堅調に推移しつつ、新規タイトルのヒットもあり、売上高は155,861百万円（前年同期比2.4%増）、営業損益は30,337百万円の利益計上（前年同期比16.5%増）となりました。

③インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

コロナで広告需要減の影響を受けるも、売上高は269,355百万円（前年同期比5.0%増）、営業損益は21,030百万円の利益計上（前年同期比7.1%増）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は4,092百万円（前年同期比36.3%減）、営業損益は3,068百万円の利益計上（前年同期比33.2%減）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)CAM、(株)マクアケ、(株)ゼルビア等が属しており、売上高は19,599百万円（前年同期比3.4%増）、営業損益は1,300百万円の利益計上（前年同期比43.3%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は260,725百万円（前連結会計年度末比35,848百万円の増加）となりました。これは、主に事業拡大に伴う流動資産の増加によるものであります。

負債は133,088百万円（前連結会計年度末比18,564百万円の増加）となりました。これは、主に買掛金及び未払法人税の増加によるものであります。

純資産は127,637百万円（前連結会計年度末比17,284百万円の増加）となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金及び非支配株主持分の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて17,804百万円増加し、102,368百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは37,028百万円の増加（前年同期間は14,917百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは16,621百万円の減少（前年同期間は18,000百万円の減少）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは2,590百万円の減少（前年同期間は4,662百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払によるものであります。

(4) 今後の見通し

2021年度の業績見通しは、引き続きスマートフォン市場の成長を取り込み連結売上高前期比4.5%増の5,000億円と見込んでおります。連結営業利益につきましては、インターネット広告事業、ゲーム事業等の収益貢献を見込むとともに、中長期の柱に育てるため引き続き「ABEMA」への先行投資をしつつマネタイズを強化し、またゲーム事業におけるボラティリティ等を考慮した上、300億円～350億円とレンジにて予想。それに伴い連結経常利益においても300億円～350億円、親会社株主に帰属する当期純利益は80億円～100億円と予想しております。

中間業績の見通しにつきましては、インターネットを取り巻く環境の変化が激しく、当社グループの業績も短期的に大きく変動する可能性があること等から開示しておりません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,565	102,368
受取手形及び売掛金	54,917	58,501
たな卸資産	924	2,078
営業投資有価証券	14,239	24,096
その他	14,093	16,682
貸倒引当金	△77	△93
流動資産合計	168,662	203,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,073	9,893
減価償却累計額	△1,680	△1,867
建物及び構築物（純額）	6,392	8,025
工具、器具及び備品	13,378	12,123
減価償却累計額	△8,453	△7,467
工具、器具及び備品（純額）	4,925	4,655
その他	1,679	560
有形固定資産合計	12,998	13,241
無形固定資産		
のれん	1,196	1,192
ソフトウェア	7,006	8,710
ソフトウェア仮勘定	15,711	14,004
その他	474	601
無形固定資産合計	24,388	24,509
投資その他の資産		
投資有価証券	8,210	8,186
長期貸付金	243	356
繰延税金資産	5,640	5,875
その他	4,711	4,893
貸倒引当金	△20	△14
投資その他の資産合計	18,785	19,296
固定資産合計	56,172	57,047
繰延資産	41	44
資産合計	224,876	260,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,151	42,966
未払金	11,563	13,519
短期借入金	940	1,080
未払法人税等	7,014	9,458
その他	13,080	20,844
流動負債合計	70,749	87,867
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,434	40,331
長期借入金	83	22
勤続慰労引当金	1,409	1,586
資産除去債務	1,795	1,851
繰延税金負債	40	1,414
その他	10	13
固定負債合計	43,774	45,220
負債合計	114,523	133,088
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	6,181	8,048
利益剰余金	61,090	63,489
自己株式	△459	△315
株主資本合計	74,015	78,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,000	10,952
為替換算調整勘定	152	109
その他の包括利益累計額合計	5,153	11,062
新株予約権	925	977
非支配株主持分	30,258	37,171
純資産合計	110,352	127,637
負債純資産合計	224,876	260,725

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	453,611	478,526
売上原価	320,311	337,918
売上総利益	133,300	140,608
販売費及び一般管理費	102,474	106,768
営業利益	30,825	33,839
営業外収益		
受取利息	140	135
受取配当金	110	118
投資有価証券評価益	92	132
助成金収入	71	63
その他	120	69
営業外収益合計	535	519
営業外費用		
支払利息	11	14
持分法による投資損失	605	367
為替差損	37	71
その他	213	83
営業外費用合計	867	536
経常利益	30,493	33,822
特別利益		
関係会社株式売却益	749	79
固定資産売却益	147	9
その他	1,015	0
特別利益合計	1,912	88
特別損失		
減損損失	9,502	4,589
その他	3,482	1,159
特別損失合計	12,985	5,749
税金等調整前当期純利益	19,420	28,162
法人税、住民税及び事業税	14,896	15,218
法人税等調整額	△1,538	△1,272
法人税等合計	13,357	13,945
当期純利益	6,062	14,216
非支配株主に帰属する当期純利益	4,368	7,648
親会社株主に帰属する当期純利益	1,694	6,567

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月 1 日 至 2019年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月 1 日 至 2020年 9 月30日)
当期純利益	6,062	14,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△251	5,865
為替換算調整勘定	△132	△58
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	102
その他の包括利益合計	△392	5,909
包括利益	5,670	20,126
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,420	12,476
非支配株主に係る包括利益	4,249	7,649

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,203	5,758	63,789	△622	76,129
当期変動額					
剰余金の配当			△4,026		△4,026
自己株式の処分		158		162	320
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		264			264
連結範囲の変動			△366		△366
親会社株主に帰属する当期純利益			1,694		1,694
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	422	△2,698	162	△2,113
当期末残高	7,203	6,181	61,090	△459	74,015

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,191	235	5,427	988	26,705	109,250
当期変動額						
剰余金の配当						△4,026
自己株式の処分						320
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						264
連結範囲の変動						△366
親会社株主に帰属する当期純利益						1,694
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△191	△82	△273	△62	3,552	3,216
当期変動額合計	△191	△82	△273	△62	3,552	1,102
当期末残高	5,000	152	5,153	925	30,258	110,352

当連結会計年度(自 2019年10月 1 日 至 2020年 9 月30日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,203	6,181	61,090	△459	74,015
当期変動額					
剰余金の配当			△4,157		△4,157
自己株式の処分		130		144	274
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1,736			1,736
連結範囲の変動			△11		△11
親会社株主に帰属する当期純利益			<u>6,567</u>		<u>6,567</u>
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	1,867	<u>2,398</u>	144	<u>4,409</u>
当期末残高	7,203	8,048	<u>63,489</u>	△315	<u>78,425</u>

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	5,000	152	5,153	925	30,258	110,352
当期変動額						
剰余金の配当						△4,157
自己株式の処分						274
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						1,736
連結範囲の変動						△11
親会社株主に帰属する当期純利益						<u>6,567</u>
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	5,952	△42	5,909	52	6,913	12,874
当期変動額合計	5,952	△42	5,909	52	6,913	<u>17,284</u>
当期末残高	10,952	109	11,062	977	37,171	<u>127,637</u>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月 1 日 至 2019年 9 月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月 1 日 至 2020年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,420	28,162
減価償却費	8,924	8,719
減損損失	9,502	4,589
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△1,655	△1,246
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,142	△3,571
仕入債務の増減額 (△は減少)	△55	4,802
前受金の増減額 (△は減少)	112	3,553
未払金の増減額 (△は減少)	△1,562	3,119
その他	47	2,359
小計	29,590	50,487
利息及び配当金の受取額	147	149
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額	△14,808	△13,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,917	37,028
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,157	△4,095
無形固定資産の取得による支出	△11,096	△9,939
その他	△746	△2,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,000	△16,621
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主からの払込みによる収入	308	2,001
配当金の支払額	△4,026	△4,157
子会社の自己株式の取得による支出	—	△1,696
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	180	1,875
その他	△1,125	△613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,662	△2,590
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113	△39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,859	17,777
現金及び現金同等物の期首残高	92,379	84,563
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	42	27
現金及び現金同等物の期末残高	84,563	102,368

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、営業外費用の「その他」に含めて表示していた「為替差損」は、当連結会計年度において、営業外費用の総額の100分の10を超えたため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業外費用の「その他」に表示していた251百万円は、「為替差損」37百万円、「その他」213百万円として組み替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた特別利益の「事業譲渡益」は、当連結会計年度において、特別利益の総額の100分の10以下となったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別利益の「事業譲渡益」に表示していた737百万円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた特別損失の「移転費用」は、当連結会計年度において、特別損失の総額の100分の10以下となったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別損失の「移転費用」に表示していた2,769百万円は、「その他」として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「前受金の増減額(△は減少)」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた営業活動によるキャッシュ・フローの「移転費用」「持分法による投資損益(△は益)」「未払消費税の増減額(△は減少)」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△170百万円は、「前受金の増減額(△は減少)」112百万円、「その他」△282百万円として組み替えたうえで、「移転費用」に表示していた2,769百万円、「持分法による投資損益(△は益)」に表示していた605百万円、「未払消費税の増減額(△は減少)」に表示していた△3,044百万円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた投資活動によるキャッシュ・フローの「関係会社株式の売却による収入」「貸付けによる支出」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローの「関係会社株式の売却による収入」に表示していた1,035百万円、「貸付けによる支出」に表示していた△1,067百万円は、「その他」として組み替えております。

前連結会計年度において、財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「非支配株主からの払込みによる収入」「連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた財務活動によるキャッシュ・フローの「投資事業組合員への分配金の支払額」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた363百万円は、「非支配株主からの払込みによる収入」308百万円、「連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入」180百万円、「その他」△125百万円として組み替えたうえで、「投資事業組合員への分配金の支払額」に表示した△999百万円は、「その他」として組み替えております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目は、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別の事業本部及び子会社を置き、各事業本部及び子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「メディア事業」、「ゲーム事業」、「インターネット広告事業」、「投資育成事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

また、当連結会計年度より、当社グループのマネージメント・アプローチ及び事業の実態に合わせ、従来「インターネット広告事業」に属していた事業の一部を「メディア事業」に移管しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	属するサービスの内容
メディア事業	ABEMA、Ameba、タップル等
ゲーム事業	スマートフォン向けゲーム事業等
インターネット広告事業	広告代理事業・動画広告事業、AI事業等
投資育成事業	コーポレートベンチャーキャピタル事業、ファンド運営等
その他事業	スマートフォンサービス事業、スポーツ事業運営等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	メディア	ゲーム	インターネ ット広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	36,791	151,806	241,137	6,428	17,446	453,611	—	453,611
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	9,784	418	15,506	—	1,501	27,210	△27,210	—
計	46,575	152,224	256,644	6,428	18,947	480,822	△27,210	453,611
セグメント利益又は損失 (△)	△16,862	26,040	19,632	4,593	907	34,312	△3,486	30,825

(注)セグメント利益の調整額△3,486百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 （注）	連結財務諸表 計上額
	メディア	ゲーム	インターネット 広告	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	49,625	155,517	251,405	4,092	17,885	478,526	—	478,526
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,473	344	17,949	—	1,713	27,481	△27,481	—
計	57,098	155,861	269,355	4,092	19,599	506,007	△27,481	478,526
セグメント利益又は損失 （△）	△18,267	30,337	21,030	3,068	1,300	37,470	△3,630	33,839

（注）セグメント利益の調整額△3,630百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2018年10月1日 至 2019年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2018年10月 1 日 至 2019年 9 月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット 広告	投資育成	その他	計		
減損損失	1,653	4,867	2,591	—	360	9,473	28	9,502

当連結会計年度（自 2019年10月 1 日 至 2020年 9 月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット 広告	投資育成	その他	計		
減損損失	85	3,942	299	—	192	4,519	69	4,589

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度（自 2018年10月 1 日 至 2019年 9 月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット 広告	投資育成	その他	計		
当期償却額	—	55	19	—	129	205	—	205
当期末残高	—	449	0	—	746	1,196	—	1,196

当連結会計年度（自 2019年10月 1 日 至 2020年 9 月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	ゲーム	インターネット 広告	投資育成	その他	計		
当期償却額	—	59	—	—	122	182	—	182
当期末残高	—	389	0	—	803	1,192	—	1,192

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度（自 2018年10月 1 日 至 2019年 9 月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年10月 1 日 至 2020年 9 月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	628円36銭	709円49銭
1株当たり当期純利益金額	13円45銭	52円09銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	12円21銭	48円82銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	1,694	6,567
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	1,694	6,567
普通株式の期中平均株式数(株)	125,938,289	126,068,485
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	△71	△76
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△71)	(△71)
(うち子会社の発行する潜在株式による調整額 (百万円))	(—)	(△5)
普通株式増加数(株)	6,911,789	6,865,823
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(6,285,767)	(6,285,767)
(うち新株予約権(株))	(626,022)	(580,056)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

・ 新任取締役候補

社外取締役 高岡 浩三

③ 新任取締役就任予定日

2020年12月11日